

建築文化週間 2011 企画

建築・都市の低炭素化実現に向けた連続シンポジウム第二回

省エネルギーで快適に暮らすための取り組み

主旨： 2009年12月、建築関連17団体は「提言：建築関連分野の地球温暖化対策ビジョン2050」を発表し、2050年までに、建築・都市を含めた建築関連分野全体としてカーボンニュートラル化を実現することを提言した。それを受けて、日本建築学会は2010年4月に「地球温暖化対策アクションプラン策定特別調査委員会」を設置し、ビジョン2050実現に向けての行動計画の策定に着手した。行動計画の策定において特に重要なことは、その実行の担い手である各地域が、いかに主体的にこの問題に立ち向かい、また互いに連携を図るかということである。その主旨から、日本建築学会は、各支部を基点とした連続シンポジウムの開催を企画している。

中国支部では、同シンポジウムを建築文化週間行事として開催することを企画した。すなわち、建築分野で立ち向かうべき課題とその対策について、広く一般市民にも訴えることにより、中国地方における今後の取り組みについて、意識の共有化を図ることを意図している。

日時：10月22日（土）13:30～17:00

会場：広島工業大学広島校舎（広島市中区中島町5-7）

主催：日本建築学会中国支部

共催：日本建築学会地球温暖化対策アクションプラン策定特別調査委員会

後援（予定）：広島県 広島市 NHK 広島放送局 中国放送 中国新聞社

広島県建築士会 脱温暖化センターひろしま

プログラム

◆基調講演

「サステナブルな建築環境の設計理念」 吉野 博（日本建築学会副会長、東北大学大学院教授）

◆中国地域における取り組み

広島市の特性とその対策	清田誠良（広島工業大学教授）
広島県のエコ住宅	猪野宏正（広島県住宅課）
広島市の対策	寺西弘文（広島市環境局エネルギー・温暖化対策部企画課長）
TEAM MATE ひろしまの取り組み	岩見潤治（脱温暖化センターひろしま）

◆パネルディスカッション

司会 西名大作（広島大学大学院教授）

定員：100名（当日先着順）

参加費：無料

問合せ：広島工業大学環境学部 宋 城基

TEL 082-921-9176 Fax 082-921-8979 E-mail: s.song.wt@it-hiroshima.ac.jp